

令和5年度 議会による行政評価 事務事業評価の予算措置等の状況

<資料一覧>

		ページ
資料1	コミュニティバス事業	3
資料2	路線バス運賃助成事業	4

令和5年度議会による行政評価 事務事業評価の予算措置等の状況

資料1

施策: 快適で住みやすいまちづくり

市評価段階 A: 拡大 B: 現状維持 C: 縮小 D: 休止 E: 段階的に廃止 F: 即廃止(完了)

(単位: 千円)

事務事業名	担当課	事業内容	市評価	議会評価	議会評価【意見集約】	R6年度 当初予算額	R5年度 当初予算額	増減額 (R6-R5)	備考 (R4年度 決算額)
コミュニティバス事業	道路公園課	路線バスが運行していない地域の交通手段を確保するため、泉佐野駅を起点として市内主要公共施設などを巡回するコミュニティバスを「北回り」「中回り」「南回り」「西回り」の4コースで運行している。また、日曜日、祝日には、観光客が市内の観光地及び商業施設を訪れる交通手段として観光周遊バスを運行している。	B	現状維持	<p>住民生活を支える上で重要な役割を果たしていると考えられるが、さらなる超高齢社会において時代の要請に応えられるだけの柔軟性に欠けていると考えられるので、今後実証実験を行うデマンド交通の導入と普及に期待するとともに、それらの適切な接続点の設定、役割分担の明確化による地域公共交通ネットワークの再構築を要望する。</p> <p>同時に、停留所を商業ベースで再構築することで、ニーズの多い買い物物の移動手段を確保するばかりか、停留所と車内広告を連動させた収益効果も図れると考える。併せて、要配慮者の乗降時と待ち時間における配慮の拡充を要望したい。</p> <p>市民からの情報提供で、日曜日と祝日の観光周遊バスの停留所については、駅や各地域のコミュニティの中心地にも設置することで、さらなる利用者増と交流促進を図るべきであると考えます。</p>	60,464	58,788	1,676	56,840
予算措置状況						<p>令和5年度予算との比較で、令和6年度事業予算は1,676千円の増額で、率にすると、2.9%の増となっています。</p> <p>主な要因としては、コミュニティバス「西回り」の停留所変更で更新された路線図・時刻表の送付に伴う郵便料の増及び人件費・燃料費等の上昇に伴い、バス会社への補助金を見直したことによる増となります。</p> <p>これにより、前年度と比較して、役務費郵便料で37千円、負担金補助及び交付金で1,639千円の増額となっています。</p>			

令和5年度議会による行政評価 事務事業評価の予算措置等の状況

資料2

施策:快適で住みやすいまちづくり

市評価段階 A:拡大 B:現状維持 C縮小 D:休止 E:段階的に廃止 F:即廃止(完了)

(単位:千円)

事務事業名	担当課	事業内容	市評価	議会評価	議会評価【意見集約】	R6年度当初予算額	R5年度当初予算額	増減額(R6-R5)	備考(R4年度決算額)
路線バス運賃助成事業	道路公園課	大木・土丸・東上地区に住所(在宅者)を有する満65歳以上の方を対象に、路線バス(犬鳴線)を利用する際、かかる運賃の一部を助成する。	B	現状維持	<p>高齢者の運転免許証返納者の増加に伴う移動手段の確保として重要な事業であると認識している。</p> <p>コミュニティバス無料運行とのバランスを取る上で全額補助又は利用率を高められるような工夫としてタクシーチケット方式の導入、デジタル化によるバス車内での更新が可能なカード方式の導入等の検討が望ましい。</p> <p>今後デマンド交通が導入・普及し、より充実したきめ細やかな事業展開が可能となった段階で廃止すべきである。</p>	3,712	1,304	2,408	971
						予算措置状況			
						<p>令和5年度予算との比較で、令和6年度事業予算は2,408千円の増額で、率にすると、184.7%の増となっています。</p> <p>主な要因としては、令和6年度より大木・土丸・東上地区に住所(在宅者)を有する満65歳以上の人を対象に、路線バス(犬鳴線)を利用する際の運賃を全額助成(バス利用券を支給)することによる増となります。</p> <p>これにより、前年度と比較して、委託料で▲162千円、負担金補助及び交付金で2,570千円の増額となっています。</p>			